2019/12期決算説明資料

環境、つなぐ未来。

NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION



2020年2月25日（火）

日本コンセプト株式会社

東証1部

9386

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

目次

Ⅰ 2019/12期決算の概要

Ⅱ 事業環境＆2020/12期決算の見通し

Ⅲ 中期経営計画

Ⅳ APPENDIX

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

I

2019/12期決算の概要

環境、つなぐ未来。

NICHICON

NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

2019/12期決算ハイライト

■輸入取引数量の増加に伴い、見合いとなる輸出取引の獲得に注力する一方、充実した国内拠点を活かして、輸入貨物の加温や保管等の付帯サービスによる国内輸送等取引が貢献。
高圧ガスビジネスも好調であり、着実に成長

1 2019/12期は前年比で増収増益

- ✓売上高：過去最高を更新
- ✓利　益：営業利益、経常利益、当期純利益すべて増益

2 引き続き有利子負債の削減に注力し、純有利子負債および有利子負債依存度は着実に縮小

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

2019/12期決算ハイライト

（百万円）	2018/12期 実績	2019/12期		差異			
		計画	実績	前期比		計画比	
売上高	12,165	12,710	**12,704**	+539	+4.4%	▲6	▲0.1%
売上総利益	3,398	3,547	**3,513**	+115	+3.4%	▲34	▲1.0%
営業利益	1,939	1,985	**1,997**	+58	+3.0%	+12	+0.6%
経常利益	1,914	1,950	**1,995**	+81	+4.2%	+45	+2.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,346	1,349	**1,405**	+59	+4.4%	+56	+4.2%
売上総利益率	27.9%	27.9%	**27.7%**	▲0.2p	–	▲0.2p	–
営業利益率	15.9%	15.6%	**15.7%**	▲0.2p	–	+0.1p	–
経常利益率	15.7%	15.3%	**15.7%**	±0p	–	+0.4p	–
保有基数（期末）	7,691基	–	**8,114基**	+423基	+5.5%	–	–
稼働率（期中平均）	77.4%	–	**74.6%**	▲2.8p	–	–	–
為替（対US＄）	110.5円	109.0円	**109.0円**	1.5円高	1.4%高	–	–

営業利益の増減要因

■引き続き高圧ガス事業の進展による増収効果が寄与し、売上総利益は増加

■一方で、支店設備の増強やタンクコンテナ保有基数の増大等の、事業増強に向けた設備投資に伴う減価償却費や人件費等は増加

営業利益

19.39億円 (2018/12期) ▶ **19.97**億円 (2019/12期)

+0.58億円

① 売上総利益の増加：+1.15億円
- a. 増収効果：+1.50億円
- b. 粗利率低下：−0.35億円

✓ 高圧ガス事業が伸張

② 販管費増：−0.56億円

✓ 人件費の増加
✓ 減価償却費が増加

環境、つなぐ未来。 NICHICON NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

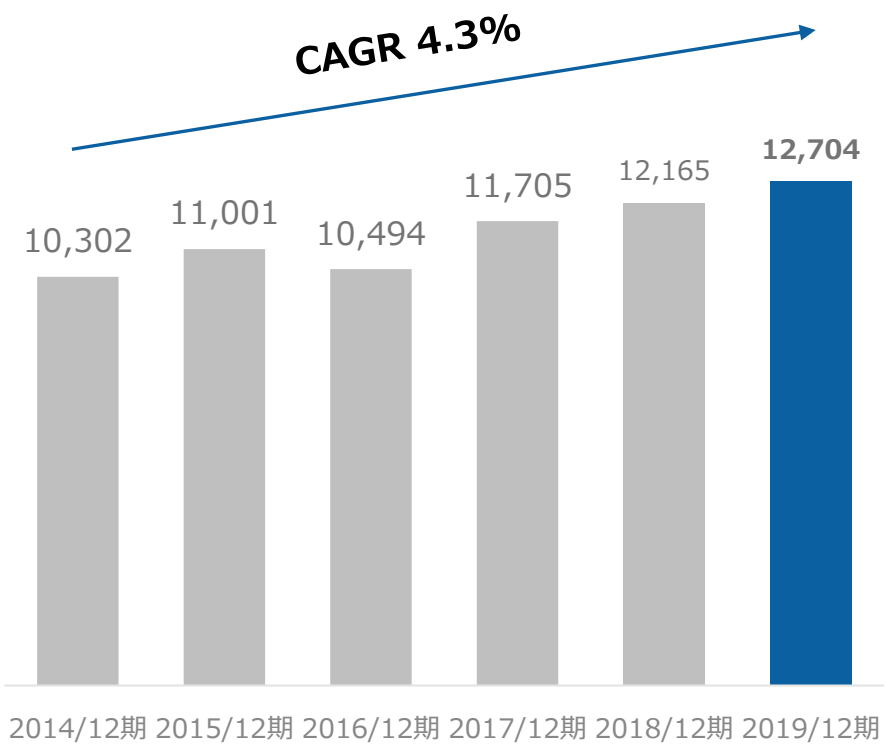
業績の推移

■売上高は年平均4.3%増で、今期は過去最高を更新

■営業利益は堅調に推移。利益率はやや低下するも10%台後半をキープ

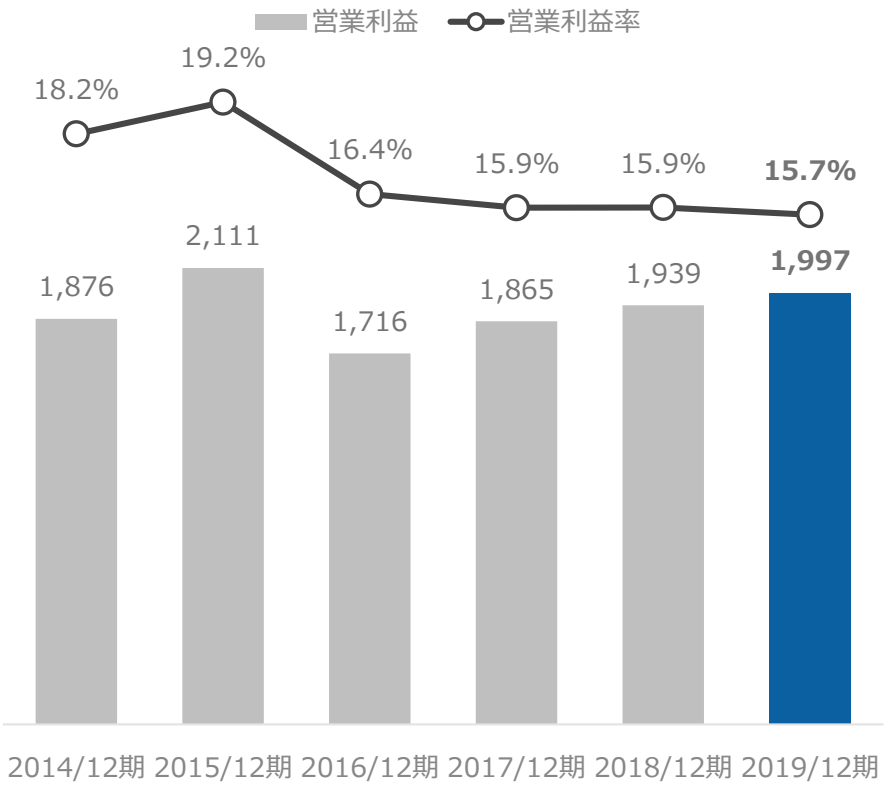
売上高の推移

（百万円）



営業利益及び同利益率の推移

（百万円）



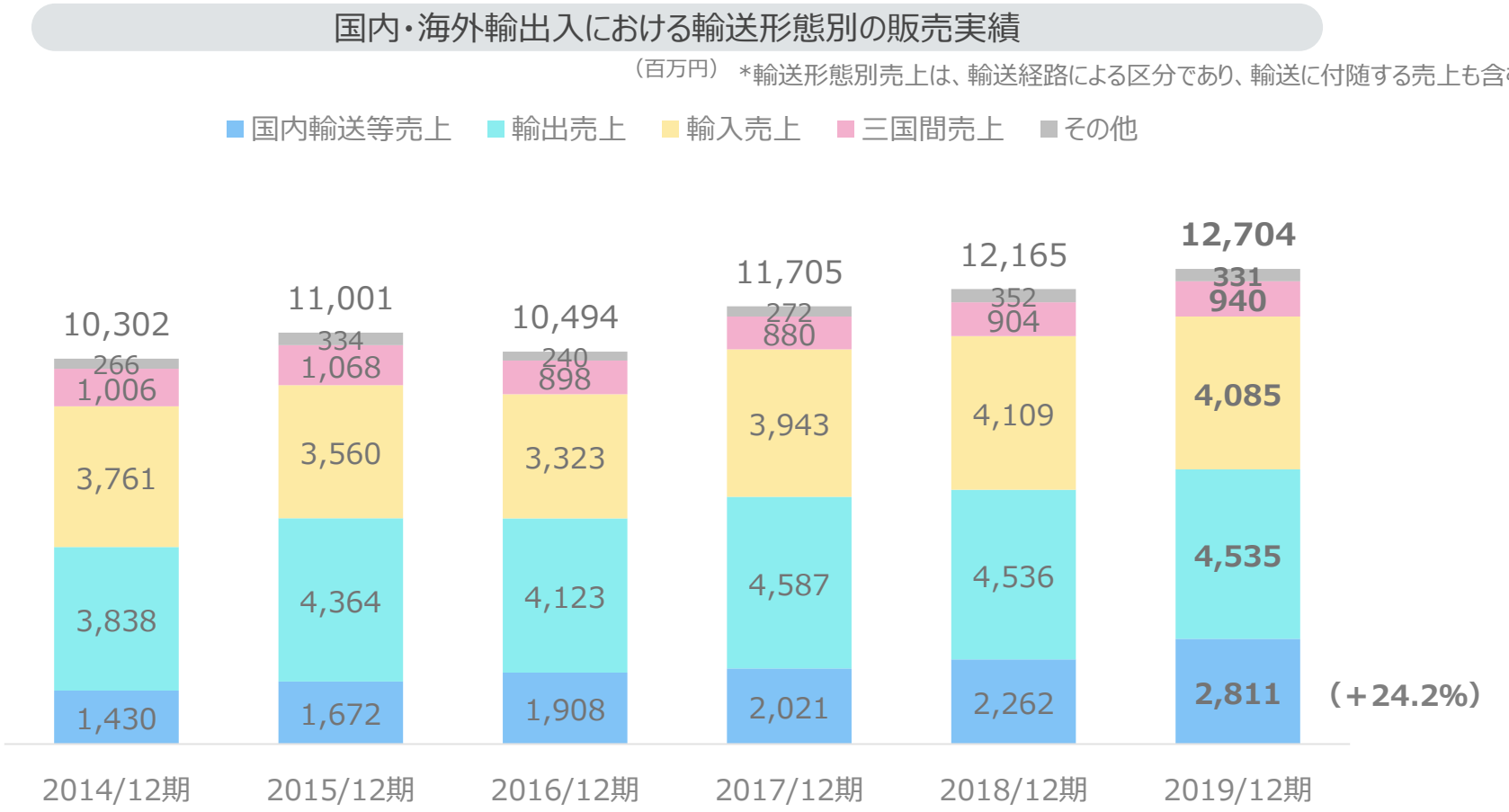
環境、つなぐ未来。

NICHICON NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

輸送形態別の販売実績

■海外輸出入における売上は横ばいも、充実した国内拠点による付帯サービス提供力を活かして、
国内輸送等売上は前期比24.2%増



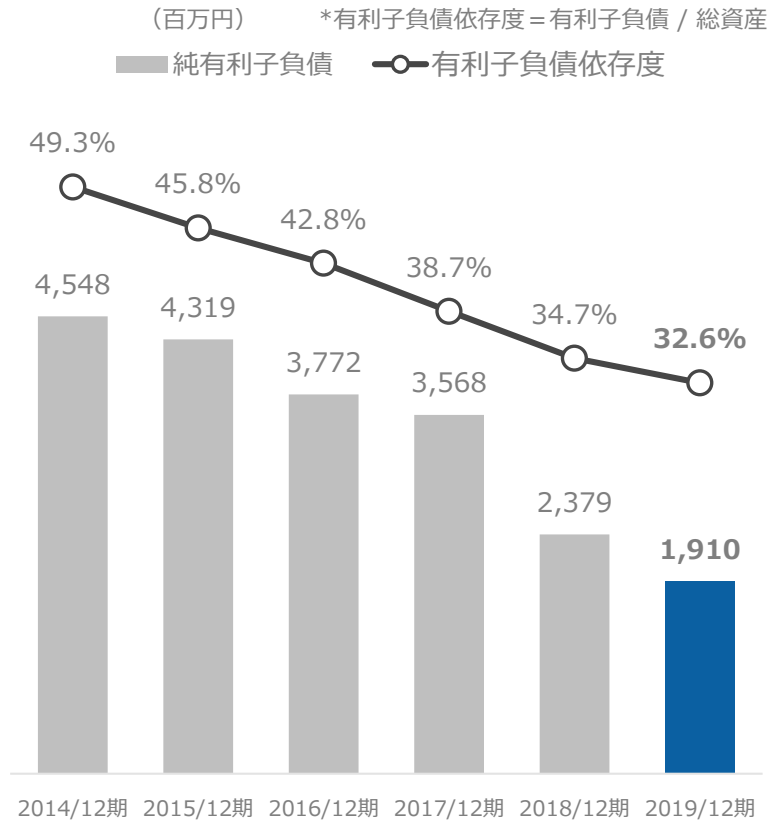
環境、つなぐ未来。
NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION
© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

バランスシートの状況

■引き続き有利子負債の削減を継続し、現預金が増加したことも相まって、純有利子負債および有利子負債依存度は共に縮小。財務安全性はより一層向上している

(百万円)	2018/12期	2019/12期	前年比	
			増減額	増減率
流動資産	5,711	**6,411**	+700	+12.3%
現預金	3,772	**4,273**	+501	+13.3%
固定資産	12,023	**12,559**	+536	+4.5%
タンクコンテナ	7,302	**7,503**	+201	+2.8%
総資産	17,734	**18,971**	+1,237	+7.0%
負債	7,843	**8,115**	+272	+3.5%
有利子負債	6,152	**6,184**	+32	+0.5%
純資産	9,891	**10,856**	+965	+9.8%
負債純資産合計	17,734	**18,971**	+1,237	+7.0%

＊有利子負債依存度等の推移



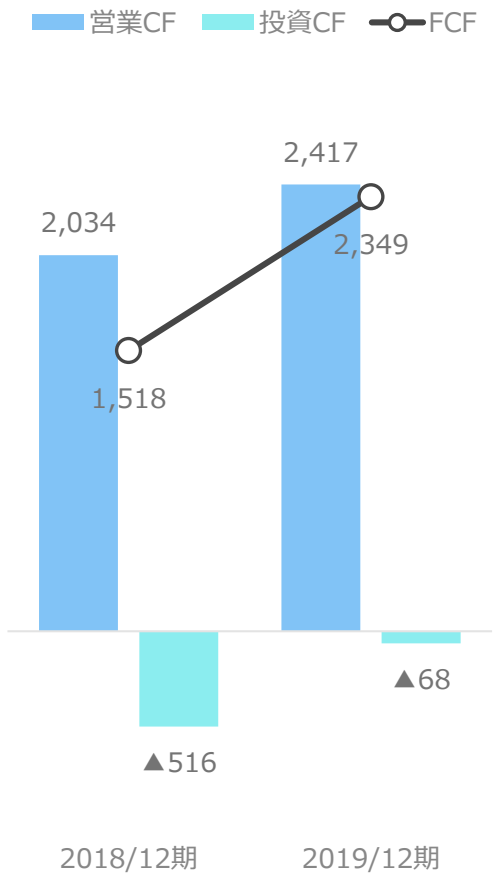
© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

キャッシュフローの状況

■税金等調整前当期純利益および減価償却費の増加等により、営業CFは大幅増。有形固定資産の取得による支出が縮小したことで、投資CFは▲68百万円となり、FCFは前期比＋54.7%増

(百万円)	2018/12期	2019/12期	前年同期比	
			増減額	増減率
営業CF	2,034	**2,417**	＋383	＋18.8%
税金等調整前当期純利益	1,912	**1,996**	＋84	＋4.4%
減価償却費	1,007	**1,142**	＋135	＋13.4%
投資CF	▲516	**▲68**	＋448	－
有形固定資産取得	▲474	**▲215**	＋259	－
FCF*	1,518	**2,349**	＋831	＋54.7%
財務CF	▲166	**▲1,665**	**▲1,499**	－
有利子負債の返済等	▲817	**▲1,249**	**▲432**	－
株式発行による収入	1,068	－	－	－
配当金支払額	▲402	**▲416**	**▲14**	－

*FCF＝営業CF+投資CF



© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

Ⅱ

事業環境
&
2020/12期決算の見通し

環境、つなぐ未来。

NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION

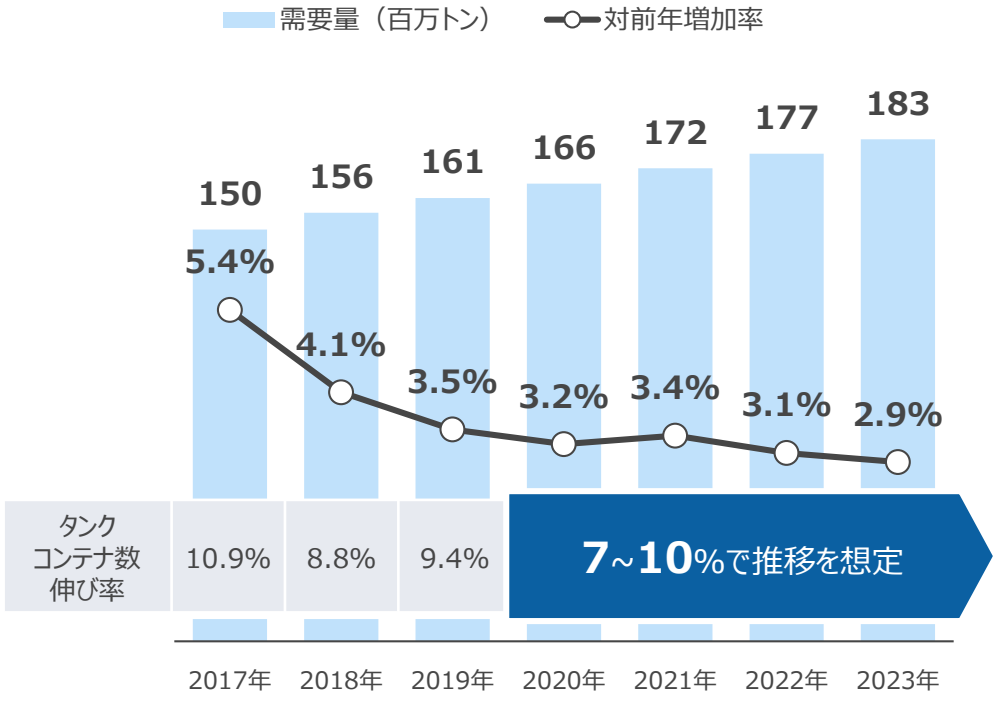
© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

事業環境①タンクコンテナ需給見通し

■世界の*エチレン系誘導品の需要見通しは、2022年に向けて3%台の安定的な伸びが見込まれており、これまでの世界のタンクコンテナ総数の伸びを踏まえると、タンクコンテナ需要は引き続き順調な伸びが期待される

*エチレン系誘導品
　ナフサを分解して得られるエチレンから生成される各種化学材料。高い強度と耐久性を備えた容器で厳重に管理しながら世界中に運ぶ必要があり、海陸一貫輸送できるタンクコンテナの主要な輸送貨物となる

世界のエチレン系誘導品の需要見通しとタンクコンテナ数伸び率



(百万トン)	2017年⇒2023年			CAGR
世界	149.7	182.5	+32.8	+3.4%
アジア	74.1	94.8	+20.7	+4.2%
欧州	21.9	23.6	+1.7	+1.3%
北中南米	35.3	40.0	+4.7	+2.1%
中東	9.6	12.4	+2.8	+4.4%

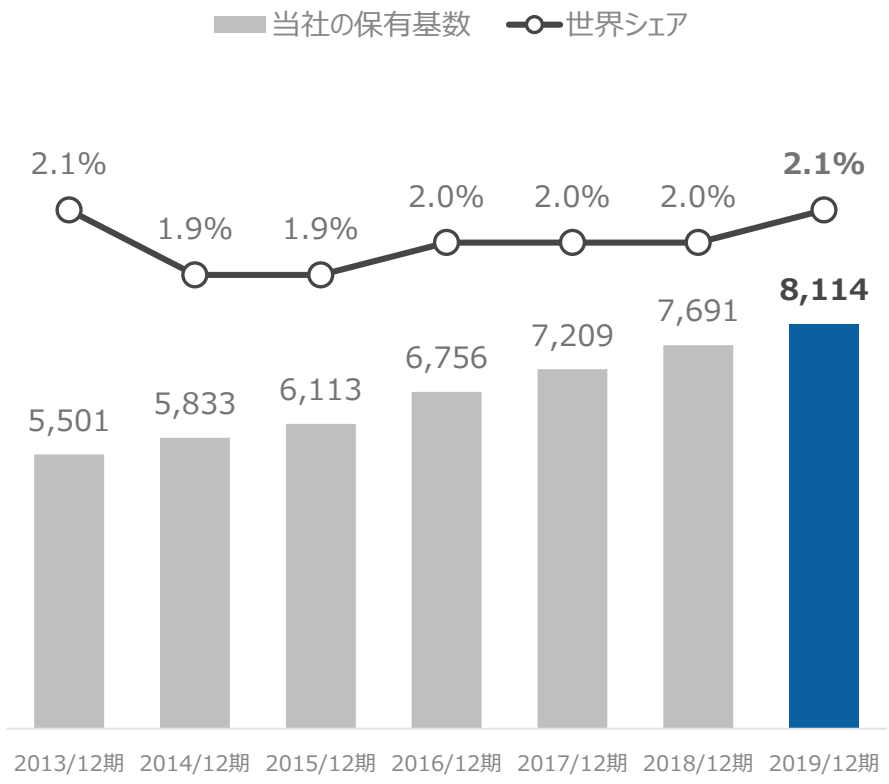
(出所)「世界の石油化学製品の今後の需給動向」(2018年10月経済産業省製造産業局素材産業課)

環境、つなぐ未来。
NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION
© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

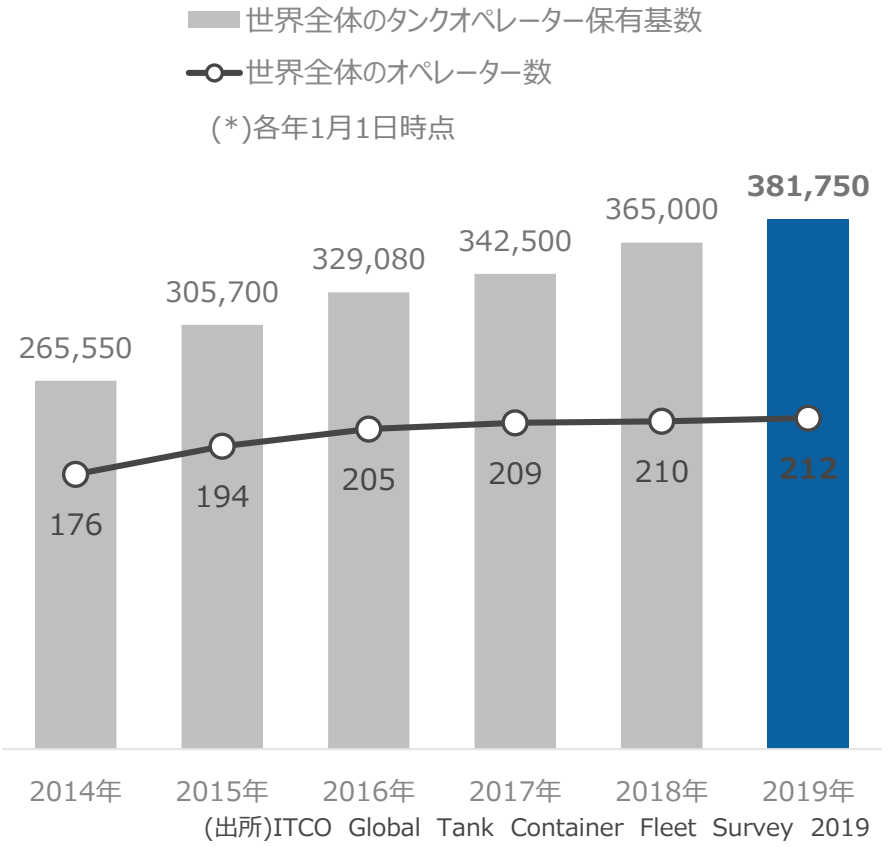
事業環境②タンクコンテナ保有基数及び同世界シェアの推移

■世界全体のオペレーターのタンクコンテナ保有基数が2014年以降で約4割増となる中、
当社も着実に増やしていき、世界シェア2%程度をキープ

当社のタンクコンテナ保有基数及び世界シェアの推移



（ご参考）世界全体のタンクコンテナ保有基数等



(出所)ITCO Global Tank Container Fleet Survey 2019

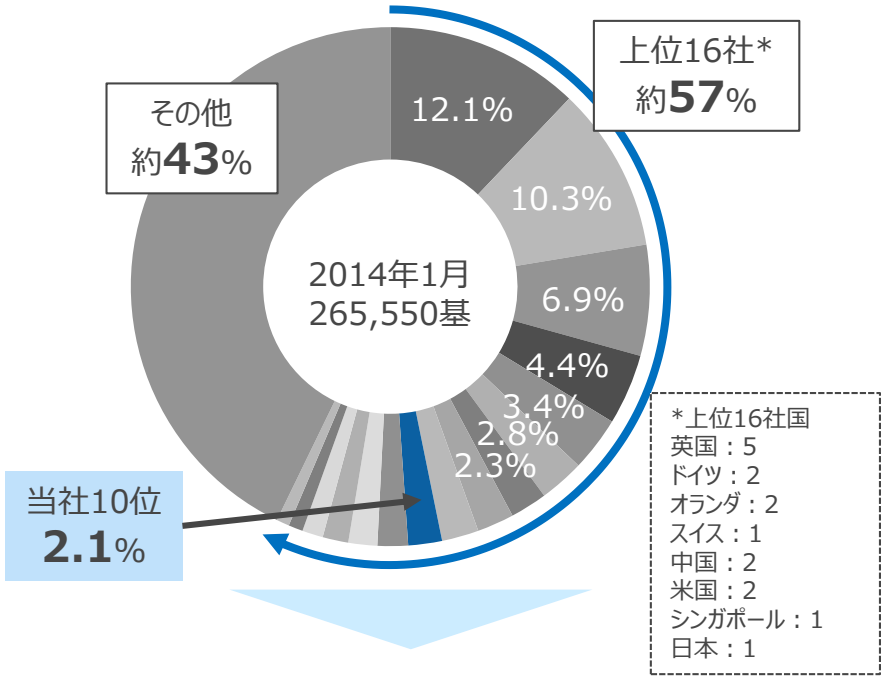
環境、つなぐ未来。
NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

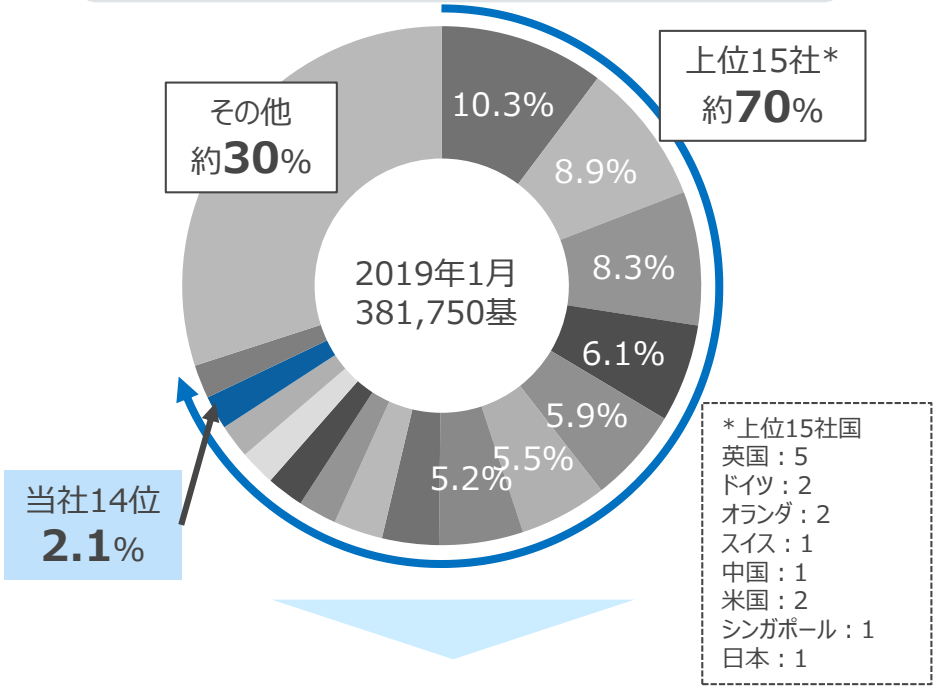
事業環境　③当社のポジション

- 世界のタンクコンテナ保有シェアで、ここ5年間における世界上位への**新規参入はゼロ**（3位以下の順位変動はあり、合併を除く）
- トップ2社については順位こそ維持しているが、シェア自体は低下する一方、上位15社*への集中度は約57%から約70%へと10ポイント以上上昇し、集中度はより高まっている

世界のタンクコンテナ保有シェア（2014年1月）



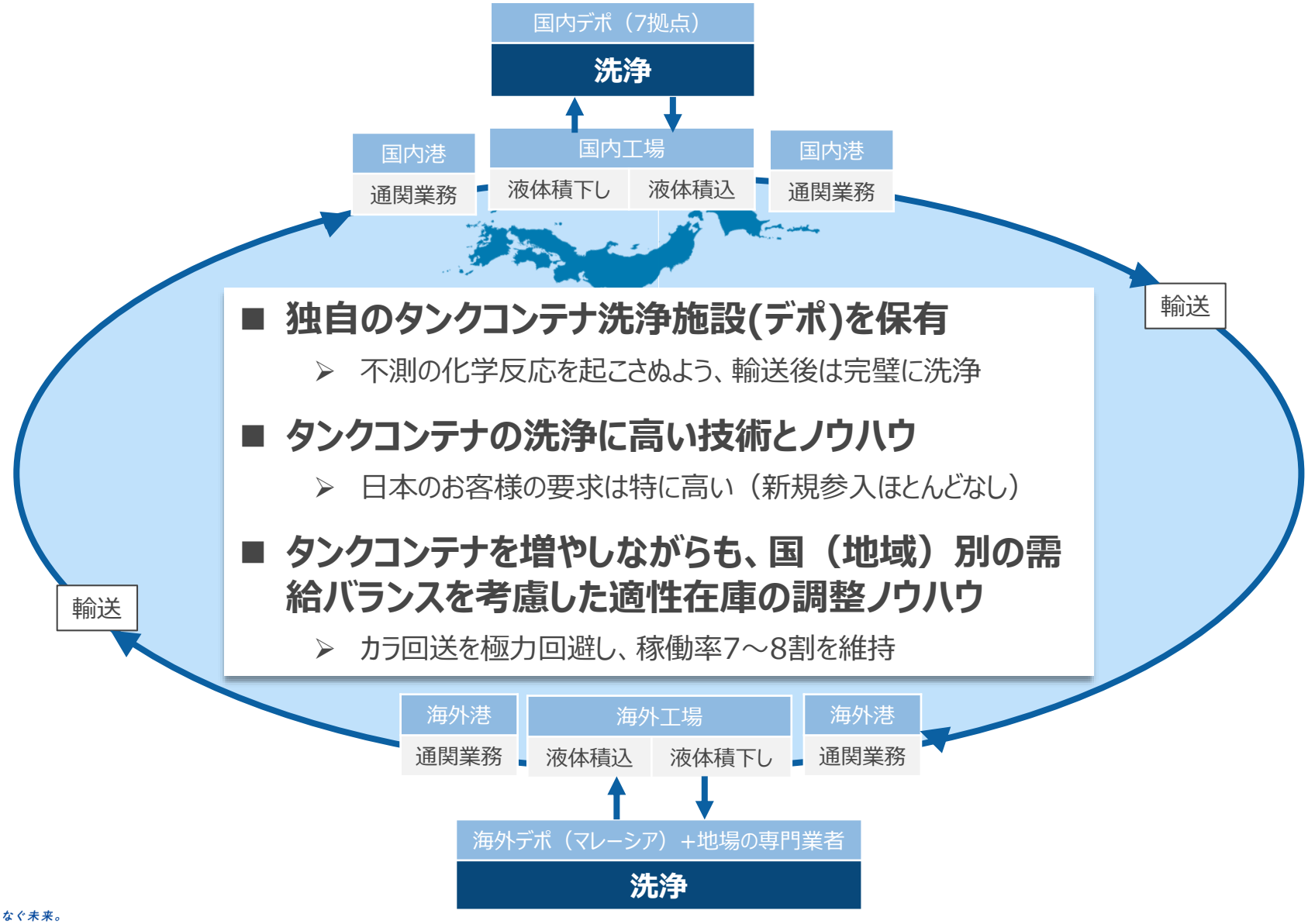
世界のタンクコンテナ保有シェア（2019年1月）



2014年には上位16社*で約57%を占めていたが、ここ5年間で約70%の占有率へと推移し、世界のタンクコンテナ保有シェアは上位企業によって、より寡占状態に

*Sinochem（中国）とNewport（オランダ）が合併したため、2019年においては上位企業数は1社減少　(出所)ITCO Global Tank Container Fleet Survey 2019

タンクコンテナ（ビジネスモデル）



© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

ガスタンクコンテナ（フロンガス）の一貫処理

■ガスタンクコンテナのワールドワイドロジスティクスを含め、保管・回収・再生・無害化（分解）・検査に至るまでの一貫処理を日本で初めて可能とし、トータルソリューションサービスを提供





保管

危険品を含めた液化ガスを当社のタンクターミナルで確実に保管

フロンガス回収

大気への放出が禁止されており、確実な回収を徹底

フロンガス再生

回収したフロンガスから不純物を取り除き再利用

フロンガス無害化

再利用する場合を除き、回収したフロンガスを無害化（分解）

法定検査

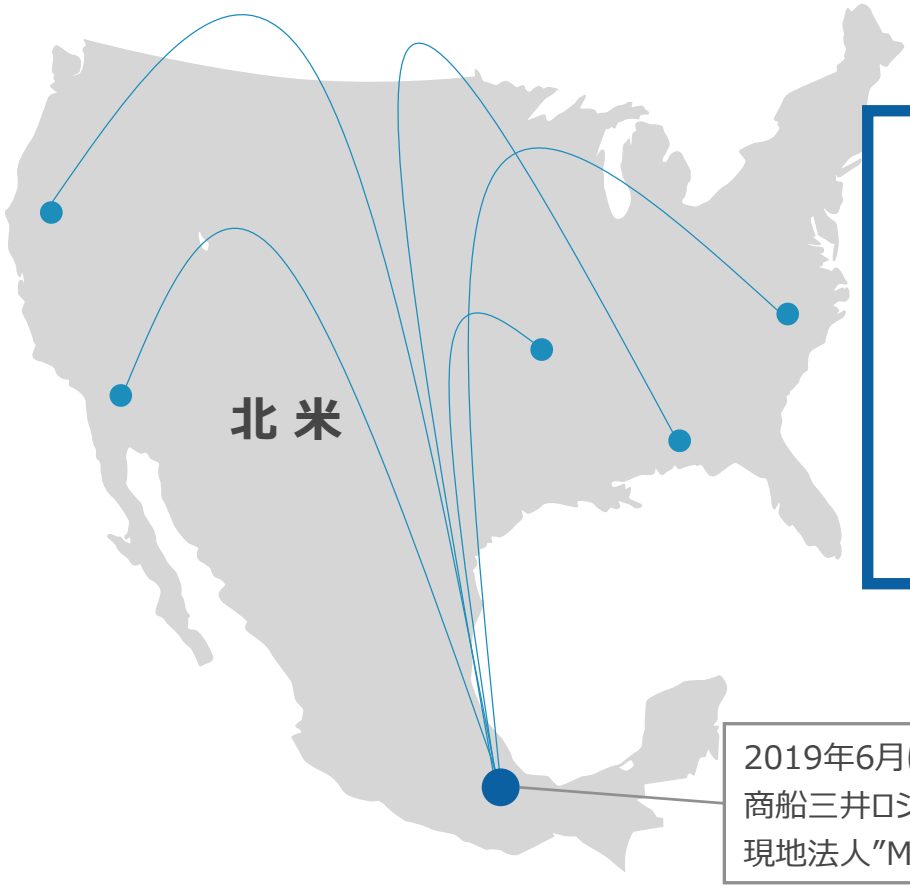
国連の定めるIMDGコードに従った厳しい検査を2.5年毎に実施

環境、つなぐ未来。
NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

新たに中南米へ進出

■国際サービス網の更なる充実の一環として、メキシコ向けの輸出入を開始。これにより、メキシコ国内の通関・内陸輸送サービスの提供が可能に



国際サービス網の更なる充実の一環として、
中南米におけるロジスティクス拡充の
第一歩であるメキシコ向けの輸出入を開始

今後も第二・第三の取り組みを検討

2019年6月に、メキシコ総代理店業務を、
商船三井ロジスティクス株式会社のメキシコ
現地法人”MOL Logistics Mexico”に委託

環境、つなぐ未来。
NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

2020/12期決算見通し

■引き続きタンクコンテナへの切替えの営業活動に注力し、保有基数の増強や複合一貫輸送への転換の推進を継続すること等により、増収増益を見込む

（百万円）	2018/12期	2019/12期	**2020/12期 見通し**	前期比	増減率
売上高	12,165	12,704	**13,330**	＋626	＋4.9%
売上総利益	3,398	3,513	**3,695**	＋182	＋5.2%
営業利益	1,939	1,997	**2,071**	＋74	＋3.7%
経常利益	1,914	1,995	**2,024**	＋29	＋1.5%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,346	1,405	**1,412**	＋7	＋0.5%
売上総利益率	27.9%	27.7%	**27.7%**	±0p	–
営業利益率	15.9%	15.7%	**15.5%**	▲0.2P	–
経常利益率	15.7%	15.7%	**15.2%**	▲0.5P	–
保有基数（期末）	7,691基	8,114基	**8,650基**	＋536基	＋6.6%
稼働率（期中平均）	77.4%	74.6%	–	–	–
為替（対US＄）	110.5円	109.0円	**109.0円**	±0円	–

環境、つなぐ未来。
NICHICON NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

営業利益の増減要因（想定）

■高圧ガス事業の伸長が増収効果に寄与

■引き続き事業増強に向けた積極的な人材への投資を行う

営業利益

19.97億円 (2019/12期) ▶ **20.71**億円 (2020/12期)

+0.74億円

① 売上総利益の増加：+1.82億円
- a. 増収効果：+1.73億円
- b. 粗利率増加：+0.09億円

✓ 高圧ガス事業が伸張

② 販管費増：－1.08億円

✓ 人件費、広告費の増加
✓ 減価償却費の増加

環境、つなぐ未来。 NICHICON NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

Ⅲ

中期経営計画

環境、つなぐ未来。

NICHICON

NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

中期経営計画　基本方針

環境に優しいタンクコンテナを活用した地球の環境保全への貢献を通じて、着実な成長を図る

1. 化学品やフロンガスに対応し、地球の環境保全をすることが唯一可能な物流容器であるタンクコンテナによる物流を、日本をはじめ遍く世界に広める。
2. サステナブルな環境保護のために構築したネットワークをベースに、ビジネスの更なる取り込みを図る。
3. フロンガスの回収・再生・無害化に至る当社独自のビジネスモデルを展開し、ガス関連ビジネスを拡大する。
4. 資本業務提携を結ぶ㈱商船三井との協業体制を通じ、新たな販路を拡大する。

企業戦略

1 従来の化学品輸送方式からタンクコンテナへの輸送モードに切替えを促進することにより、顧客ニーズの拡大を目指す。

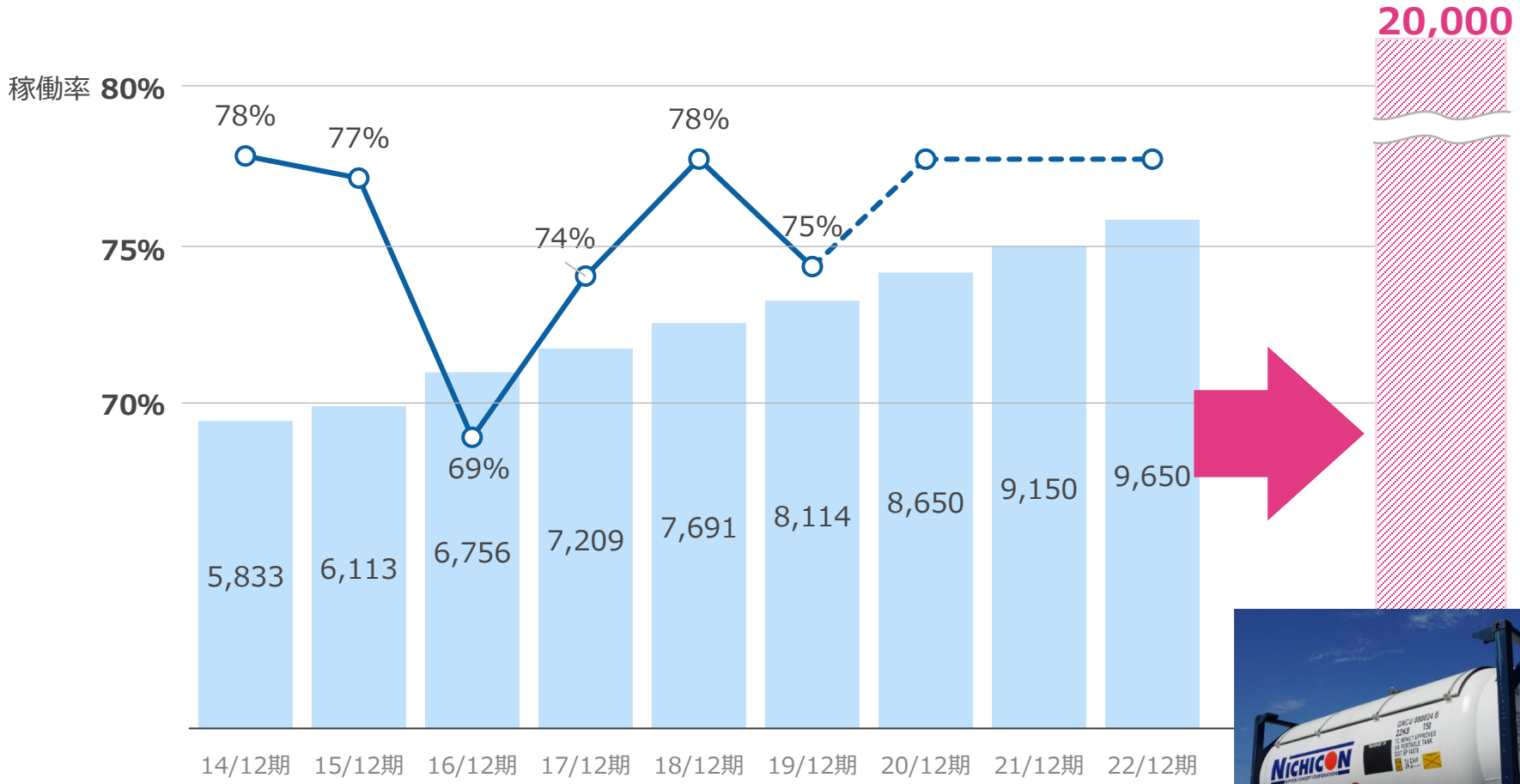
2 従来の国内輸送方式を、より大量の輸送ができるタンクコンテナと当社の国内拠点網を活用した複合（トラック、鉄道、内航船）輸送に切替えることにより、ドライバー不足への対応と環境保全に貢献する。

3 フロンガスの回収から再生・無害化に至る当社独自のフルラインナップサービスを、ガスタンクコンテナのみならず他の容器にもご提供することを通じてガスビジネスを拡大する。

4 グローバルネットワークの更なる充実を図るため、新たな地域へ進出し、取引量の拡大を目指す。

企業戦略（1）　ケミカル関連ビジネスの拡充

- 競争力強化に向けて保有基数の増大を図りつつ、稼働率も70%台半ばを維持
- 効率的な輸送を展開しつつ、輸送量の増加に見合った着実な増量を目指す



<新規調達計画>	2020/12期	2021/12期	2022/12期
調達基数(概算)	500	500	500



環境、つなぐ未来。
NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION

企業戦略（1）　国内ビジネスの拡大

- 新たに阪神支店のフロンガス無害化（分解）設備稼働（京葉臨海は2017年5月に稼働済）
- 京葉臨海支店高圧ガス事業所と阪神支店にフロンガス補充ボンベ保管用の倉庫設備を増強

洗浄拠点
ガス事業拠点
営業拠点

中部支店
中部営業所
（三重県四日市市）



新潟出張所
（新潟県新潟市）



京葉臨海支店高圧ガス事業所
（千葉県富津市）
2019年11月　倉庫設備増強



水島支店
水島営業所
（岡山県倉敷市）



京葉臨海支店
（千葉県富津市）



徳山支店
徳山営業所
（山口県下松市）



阪神支店　**2020年1月**
（兵庫県神戸市）　**無害化設備稼働**
倉庫設備増強





神戸支店
神戸営業所
（兵庫県神戸市）

京浜支店
（神奈川県川崎市）



環境、つなぐ未来。
NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

企業戦略（2）　複合輸送の取り組み強化

■ コンテナ船で海外から搬送されてきたタンクコンテナを、内航船や鉄道、トラック輸送と組み合わせることにより、効率的な輸送を展開しつつ、CO_2削減への貢献やドライバー不足に対応する



トラック輸送



鉄道輸送



内航船輸送



環境、つなぐ未来。
NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

企業戦略（2）　付帯サービスの強化

■ 国内支店の専用設備を利用し、ドラム缶やタンクローリなど他の輸送モードからタンクコンテナへの転換を促進、地球の環境保全に貢献

国内物流網における附帯サービス

保管



危険物の貯蔵所として認可を受けている当社の支店において、危険物を含め、貨物を積載したタンクコンテナを安全にそのまま保管・管理。

加温



機械の潤滑油やパーム油(椰子油)など、輸送途上で固まってしまう貨物を、当社の専用設備による温水や蒸気で温め、溶かしたうえで工場に納品。

移し替え



タンクコンテナのまま納入できないお客様に対しては危険物のプロとして、タンクローリーやドラム缶等に貨物を小分けして配送。

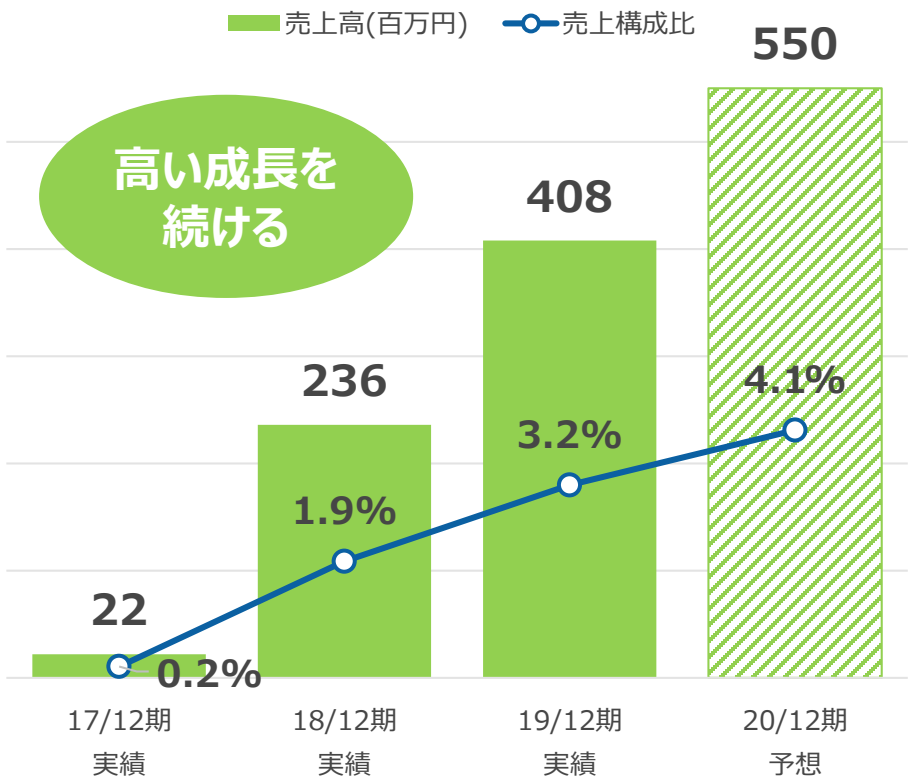
環境、つなぐ未来。
NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

企業戦略（3）　フロンガス関連事業の拡大

- ガスタンクコンテナ等を利用したフロンガスの保管・回収・再生・無害化（分解）を一貫して提供
- 地球の環境保全に貢献するビジネスとして成長を図る、基幹産業としての位置づけ
- 2019/12期売上高は408百万円、2020/12期は前期比35%増の550百万円を見込む

ガスタンクコンテナ事業　売上実績



ガスタンクコンテナ事業



環境、つなぐ未来。
NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

企業戦略（4）　海外展開　中東・アジア地域での営業推進

- 中東：2023年にかけて中東地域における化学品の供給能力が拡大、商船三井グループとの業務提携を通じて中東地域での営業力を強化
- アジア：中国の旺盛な輸入需要など、東アジア・東南アジア圏の活発な荷動きを取り込む

欧州

アジア

※ 中東では石油化学プラントの稼動が加速しており、エチレン生産能力の増加は1,528千トンに上るとみられる。この間、欧州での能力増強は計画されておらず、輸送需要の拡大を捉える好機（2018年から2023年にかけての増加量）

（出所）：経済産業省

世界の主要石油化学プラント（既存及び2023年までの新増設計画）



«2023年 エチレン系誘導品の需給バランス予測»（単位：百万トン）

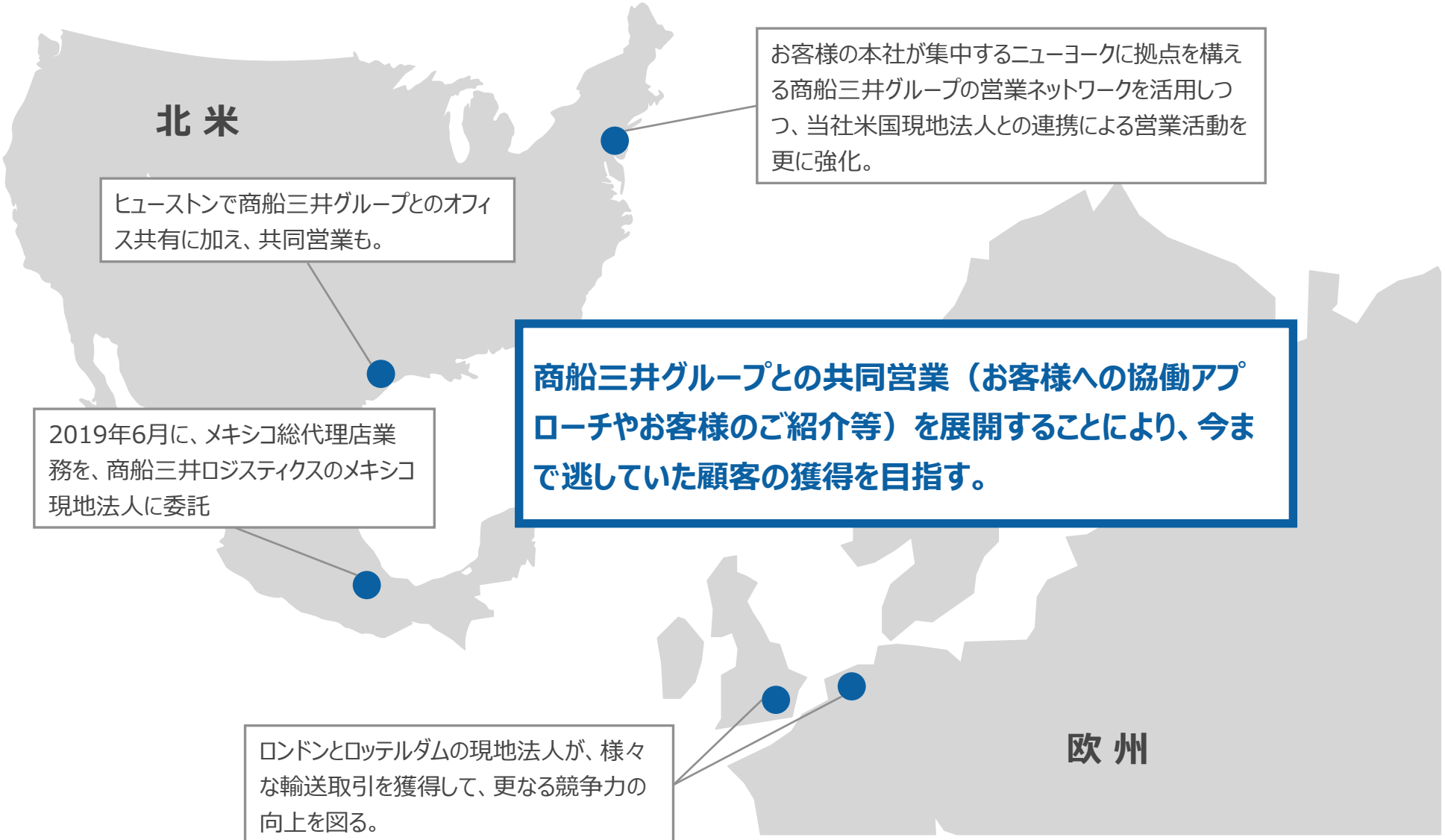
	欧州	北中南米	中東	アジア
生　産　量	21.2	49.6	32.3	81.3
消　費　量	23.6	40.0	12.4	94.8
需要バランス（2023年）	△2.4	+9.6	**+19.9**	△13.5
需要バランス（2017年）	△1.3	+5.7	+18.5	△15.1

（出所）　経済産業省「世界の石油化学製品の今後の需給動向」

環境、つなぐ未来。
NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

企業戦略（4）　海外展開　欧米地域での営業推進



お客様の本社が集中するニューヨークに拠点を構える商船三井グループの営業ネットワークを活用しつつ、当社米国現地法人との連携による営業活動を更に強化。

ヒューストンで商船三井グループとのオフィス共有に加え、共同営業も。

2019年6月に、メキシコ総代理店業務を、商船三井ロジスティクスのメキシコ現地法人に委託

商船三井グループとの共同営業（お客様への協働アプローチやお客様のご紹介等）を展開することにより、今まで逃していた顧客の獲得を目指す。

ロンドンとロッテルダムの現地法人が、様々な輸送取引を獲得して、更なる競争力の向上を図る。

環境、つなぐ未来。
NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

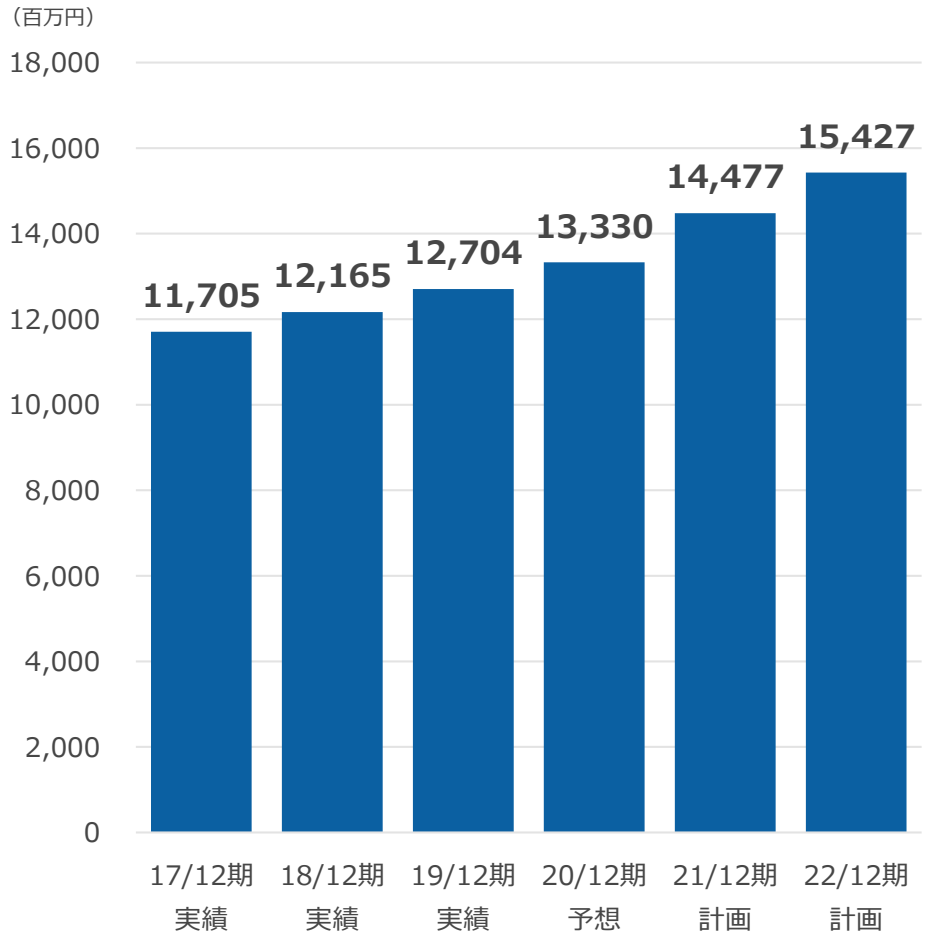
中期経営計画　定量目標

	2019/12期		計画最終年度 2022/12期
売上高	127.0億円	→	**154.2**億円
営業利益	19.9億円	→	**23.5**億円
経常利益	19.9億円	→	**23.0**億円
一株当たり当期純利益	101.3円	→	**114.8**円

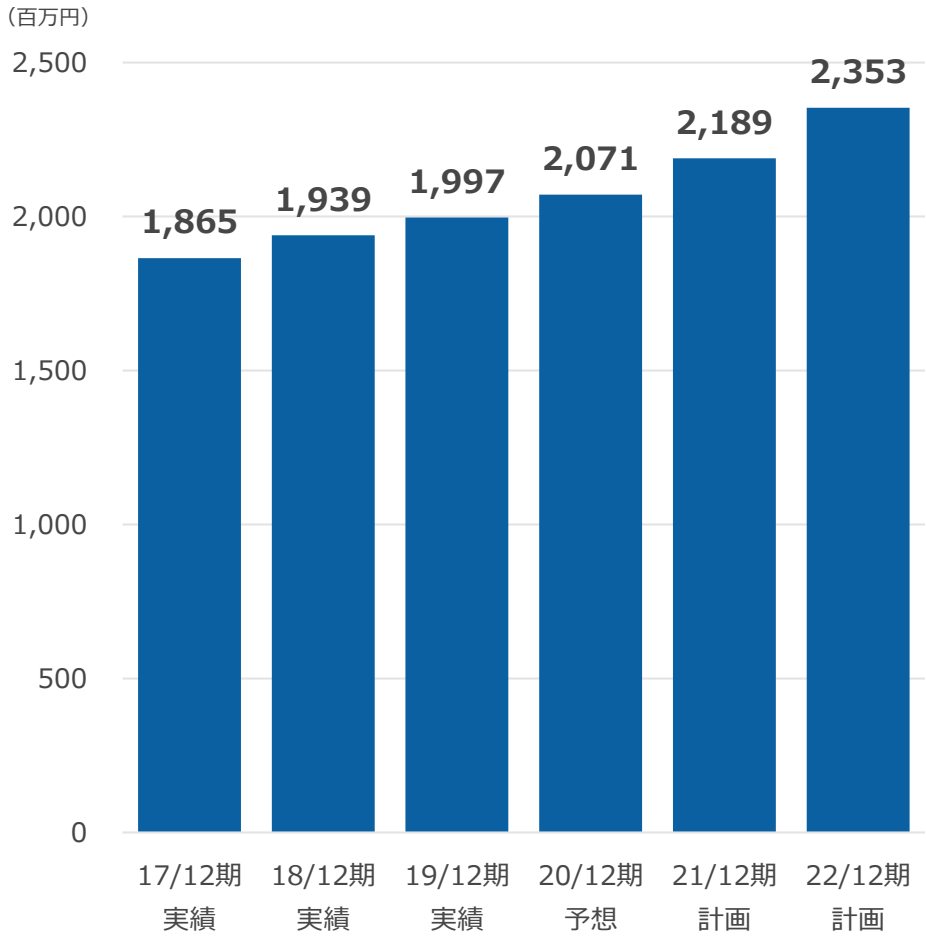
連結業績（1）

■ 計画最終年度　売上高154億円、営業利益23.5億円の達成

売上高



営業利益



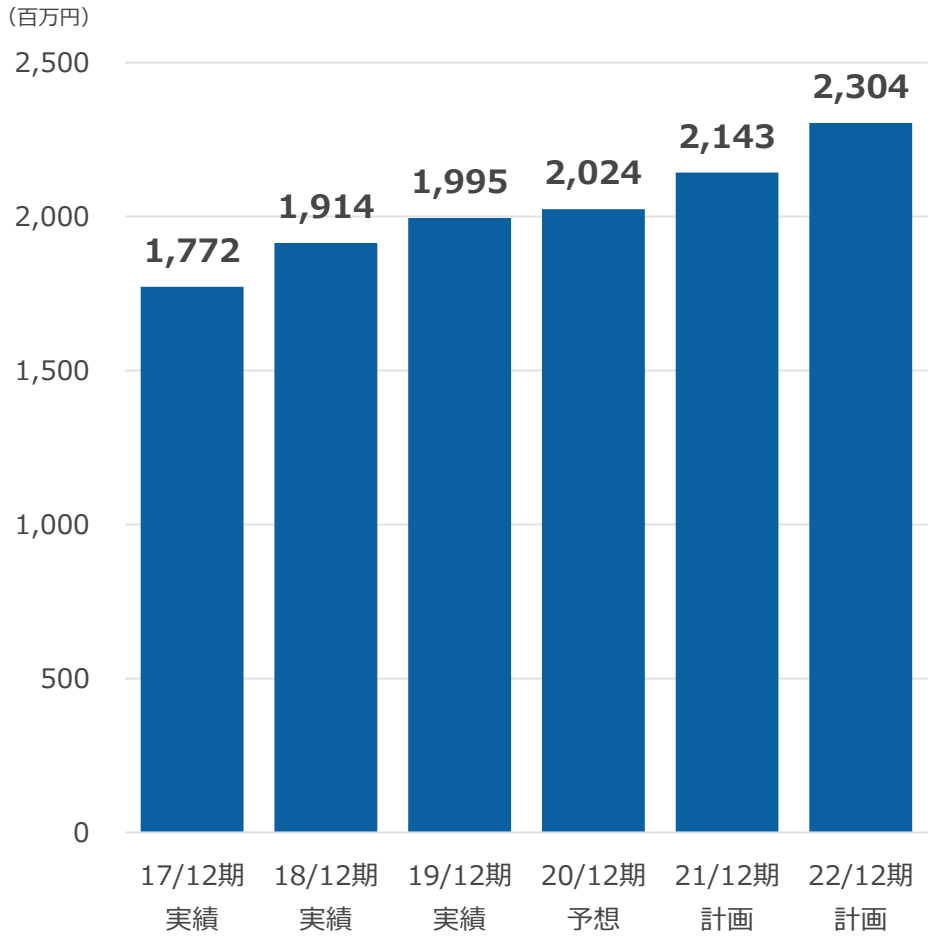
環境、つなぐ未来。
NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

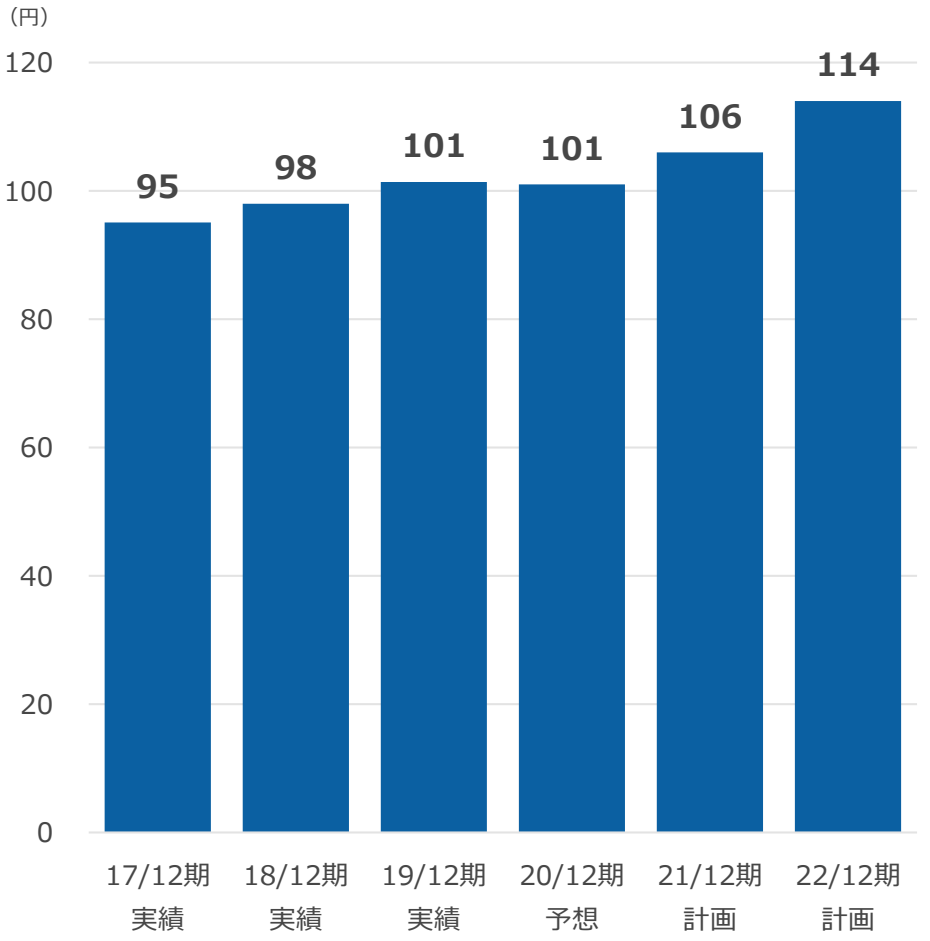
連結業績（2）

■ 計画最終年度　経常利益23.0億円、EPS114円の達成

経常利益



EPS(一株当たり当期純利益)



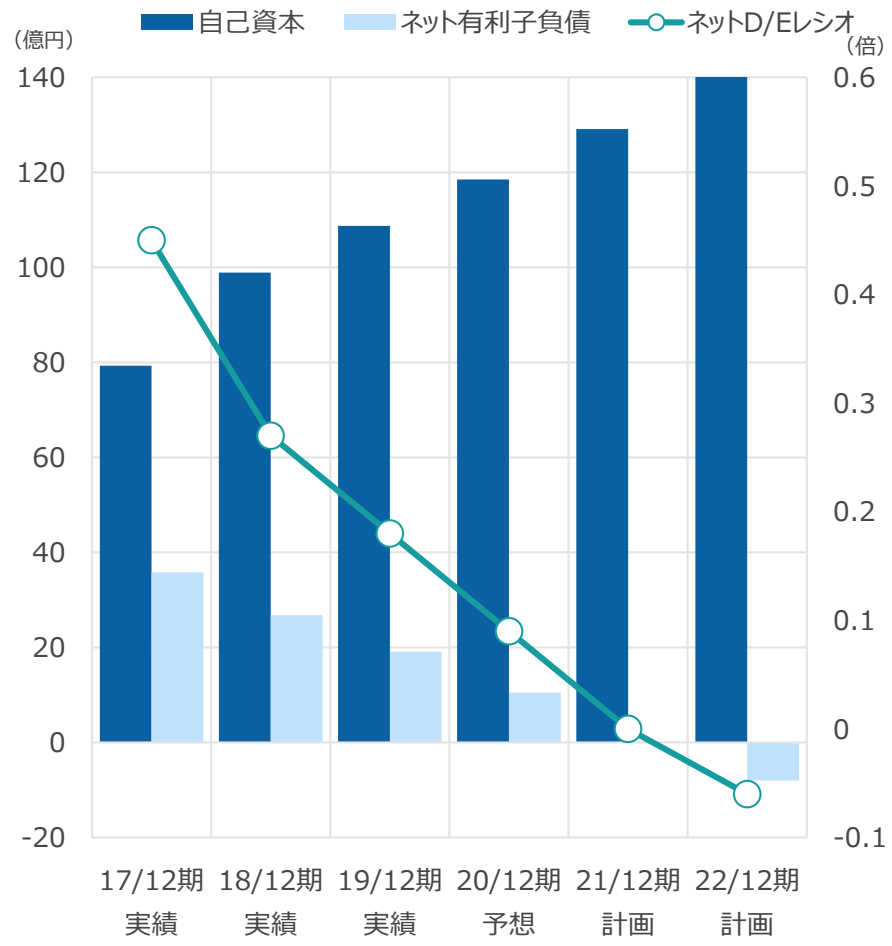
環境、つなぐ未来。
NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

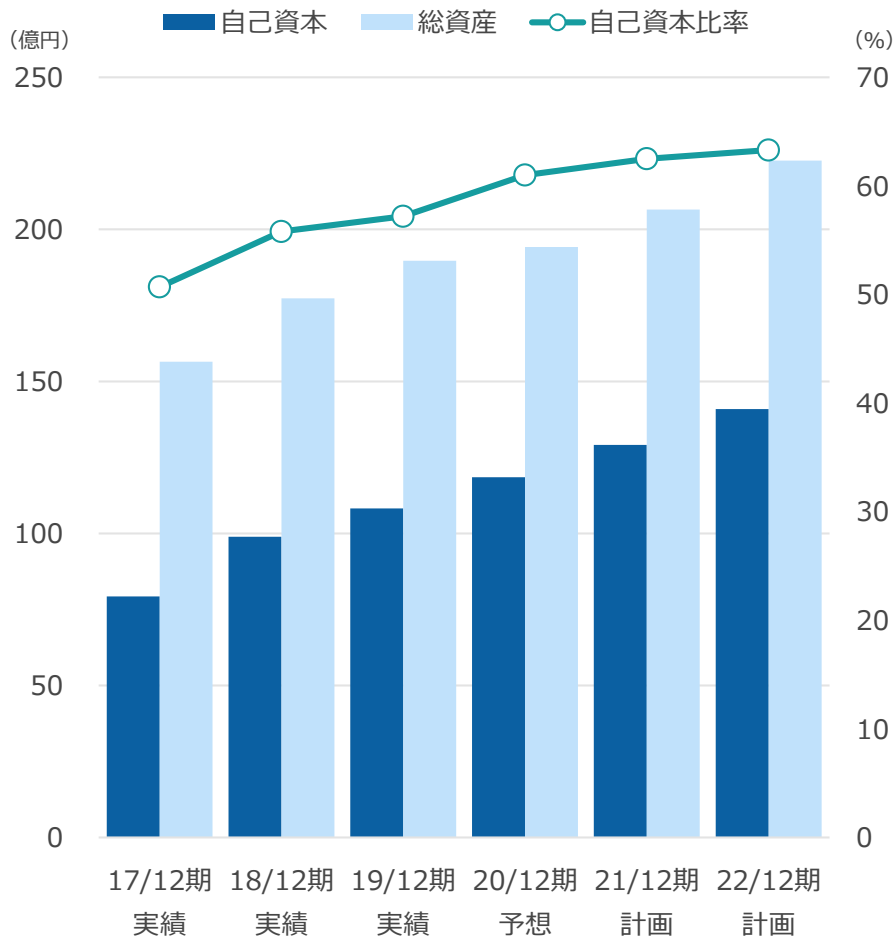
連結業績（3）

■ 計画最終年度　8億円のネット・キャッシュ

ネットD/Eレシオ



自己資本比率



環境、つなぐ未来。
NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

財務指標

（単位 ： 億円）

連結	2016年	2017年	2018年	2019年（実績）	2020年（予算）	2021年（計画）	2022年（計画）
有利子負債	63.8	60.7	61.5	61.8	57.2	53.6	52.8
現預金	25.6	24.9	34.6	42.7	46.7	53.4	60.8
ネット有利子負債残高	38.1	35.8	26.8	19.1	10.5	0.2	-8.0
自己資本	70.4	79.3	98.9	108.5	118.5	129.1	140.9
総資産	148.1	156.5	177.3	189.7	194.2	206.5	222.6
自己資本比率(%)	47.5	50.7	55.8	57.2	61.0	62.5	63.3
ネットD/Eレシオ(倍)	0.54	0.45	0.27	0.18	0.09	0.00	-0.06

» タンク購入等により、毎年 １０ ～１５ 億円程度の設備投資を見込む

» 成長を堅持しつつ、自己資本比率 ６０ %以上、及びネットＤ／Ｅレシオ ０． １倍以下とすることを目標に、有利子負債の圧縮に努めてゆく方針

連結	2016年	2017年	2018年	2019年（実績）	2020年（予算）	2021年（計画）	2022年（計画）
税引前当期純利益	15.7	17.6	19.1	19.9	20.2	21.3	22.9
支払利息	1.1	0.6	0.6	0.6	0.6	0.5	0.6
減価償却費	8.6	9.0	10.0	11.4	11.6	12.6	13.3
ＥＢＩＴＤＡ※	25.5	27.3	29.8	32.0	32.4	34.6	36.9

※ 税引前・利払い前・減価償却前利益

比率は期末ベース

環境、つなぐ未来。
NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

Ⅳ

APPENDIX

環境、つなぐ未来。

NICHICON

NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

モーダルシフトに適合するタンクコンテナ

- ※ISO規格に基づく高い強度と耐久性を備え、危険物を一般の貨物と同様に海陸一貫した輸送が可能
- 長期間の反復利用が可能なため、貨物の納入後に輸送容器を処分する必要がなく、廃棄物も最小限に
- 洗浄作業も、残液の厳格な処理を行うことができる信頼性の高い施設で実施

※ISO：International Organization for Standardization(国際標準化機構)の略

タンクの反復利用が可能



移動・保管が簡単でエコ

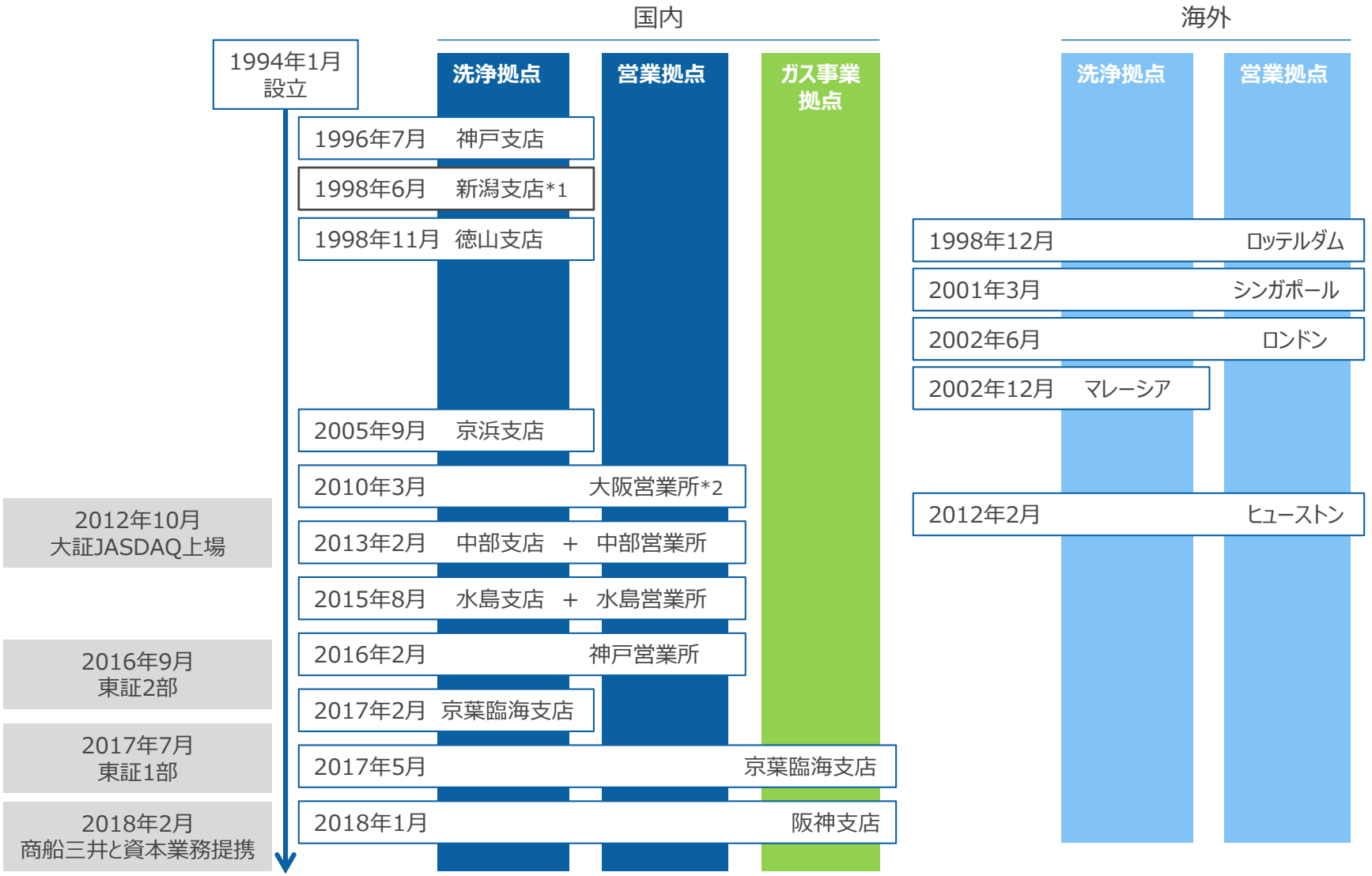




環境、つなぐ未来。
NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

沿革



*1：現出張所、*2：神戸営業所に統合

環境、つなぐ未来。
NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

会社概要

社名	日本コンセプト株式会社
設立	1994年1月6日
所在地	東京都千代田区内幸町2-2-2 富国生命ビル8階
代表取締役社長	松元　孝義
資本金	1,134,781,750円（2019年12月末時点）
上場市場	東京証券取引所市場第一部
単元株式数	100（株）
決算期	12月
子会社	6社
従業員数	198名（連結：2019年12月末時点）



© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

見通しに関する注意事項

**当資料に記載されている内容は、いくつかの前提に基づいたものであり、
将来の計画数値や施策の実現を確約したり保証したりするものではありません**

環境、つなぐ未来。

NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION

<お問い合わせ先>
広報部　IR担当
03-3507-8812
inquiry@n-concept.co.jp

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.